

駒沢学園女子中学高等学校

新型コロナウイルスの感染が確認された場合のガイドライン

発熱等の症状について

- (1) 以下の症状がある場合には、登校を控えること。
 - ・本人に発熱等の症状がある。
 - ・同居家族に発熱等の症状がある。
- (2) 以下の場合には、登校不可（出席停止）とする。
 - ・生徒が感染
 - ・生徒や同居家族が濃厚接触者と認定
 - ・PCR 検査を受けた日から、陰性の結果がでるまでの期間または、保健所の指示があるまで
- (3) その他、確認事項があったら学校に連絡する。

学校の対応

- (1) 陽性者が確認された場合
 - ①陽性者 1 名（発症 2 日前まで登校）が確認された、同一のクラスの学級閉鎖を実施し、濃厚接触者等を確認する。クラス外での濃厚接触者等を同時に確認する。学級閉鎖期間は、状況に応じて設定する。
 - ②校内の消毒作業を行う。
 - ③濃厚接触者等の候補者リストを作成。保健所と連携し、濃厚接触者等を特定する。
 - ④濃厚接触者等に該当しない生徒は、学校再開。濃厚接触者は、検査を行う。
 - ⑤陽性者、陰性者共に保健所の指示のもと休養する。
- (2) 生徒への対応
 - ・陽性者が確認された場合、偏見や差別などが生じないよう配慮を行う。
 - ・毎日の健康観察表を確認し、生徒の体調を把握する。
 - ・オンライン授業の配信をする。
 - ・自宅休養中にオンライン授業に参加することができる。
(実技教科は、オンライン授業を行えない場合もある。)
- (3) 保護者への周知
 - ・陽性者が確認された場合の、学内の感染状況をフェアキャストにてお知らせする。

濃厚接触者について

文科省のガイドラインに基づき、濃厚接触者の候補者については、学校より生徒の健康観察、ヒヤリングを行い、候補者リストを作成する。保健所が適切と認定した場合に濃厚接触者等を決定し、認定された生徒については、検査を受けることとする。

(1) 濃厚接触者の候補者となる範囲・・・発症 2 日前。無症状の場合には、陽性確定の検体採取日 2 日前から自宅療養等を開始するまでの期間

(2) いずれかに該当する者は候補者とする。

- ・マスクなしで、約 15 分以上、約 1m の距離で感染者と接触した者
- ・感染者がマスクを外し体育、部活動にて活動をし、約 1m の距離で接触した者

上記以外にも状況に応じて、候補者とする。

※鼻だしマスクや顎マスク等のマスク着用が不十分な状態であるかも確認する。

学級閉鎖等の判断について

文科省のガイドラインに基づき、以下の通りにする。

学級閉鎖になる場合

- ・陽性者が 1 名確認されたら学級閉鎖を実施する。
- ※学級閉鎖期間中に新たな陽性者が複数発生した場合には、期間を延長することもある。

学年閉鎖になる場合

- ・複数の学級が閉鎖した場合、学年内で感染が広がっている可能性が高い場合に学年閉鎖を実施する。

学校全体の臨時休校になる場合

- ・複数の学年を閉鎖するなど、学校内で感染が広がっている可能性が高い場合に臨時休校を実施する。

その他

- ・教職員が感染した場合も同様とする。

生徒の感染が判明した場合のフローチャート

